

公益財団法人大阪府国際交流財団

事業名	留学生のための通訳・翻訳研修と災害訓練・多言語支援センター設置訓練			
実施期間	2012年6月16日(土)、2012年6月30日(土)			
場 所	大阪府堺留学生会館オリオン寮			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	44 名	25 名	41 名	110 名

<実施内容>

大阪府堺留学生会館オリオン寮にて6月16日留学生のための通訳翻訳研修、6月30日留学生のための災害訓練・多言語支援センター設置訓練を行いました。通訳翻訳研修にはオリオン寮生を始め留学生が約40名、災害訓練には留学生、学校の留学生担当者、OFIXボランティアの方々約50名が参加しました。通訳、翻訳の基礎知識、災害時必要となる用語を学び、その後の多言語支援センター設置訓練では通訳者として活躍しました。

災害訓練は、大規模な地震が発生したため、住居が倒壊したり、余震が続き建物内に居ることが危険と判断した被災者が避難所に避難するという想定で行いました。避難所を体験する班と被災者を支援する多言語支援センター班との2班に分かれ、それぞれのプログラムを体験しました。避難所体験班では、地震が起きた場合は第一に身の安全を確保し、火の元の確認や出口の確保等落ち着いて行動し、避難所に避難することや安否確認をすることの重要性を指導しました。避難所とはどういうものか知らなかった留学生が、知らない者同士が一つのグループになって順番に非常食の配給を受けたり、避難所のルールを学ぶことが出来たととても良い経験になったという感想を受けました。

多言語支援センター班では、たくさんの情報の中から被災者にとって必要な情報を選別し、日本語の不自由な外国人のために多言語で翻訳し、避難所を巡回して被災者の通訳やサポートをするという訓練を行いました。日本人ボランティアと一緒に留学生も外国人被災者の支援をしました。また、堺市北消防署のご協力を頂き、地震が起きたときに注意することや必要な行動、119番通報の仕方や消火器の使い方、AEDの使い方、心配蘇生法等の救急救命指導もして頂きました。

一日を通してのプログラムに少々疲れ気味の参加者でしたが、参加して楽しかった、勉強になったと言って帰って行きました。OFIXでは今後も災害時の外国人支援事業を引き続き実施する予定です。



避難者となり避難所体験をする留学生達



災害時必要となる用語や基礎知識を学ぶ留学生達

<参加者からのコメント>

〇〇さん

ニュースで見るより体験してみてもっとも分かりやすかった。企画自体は素晴らしいものだったが、全体の時間が長かった。

〇〇さん

情報伝達の重要性、難しさを感じました。外国人に避難所は外国人も受け入れることができると伝え方が良いと思いました。